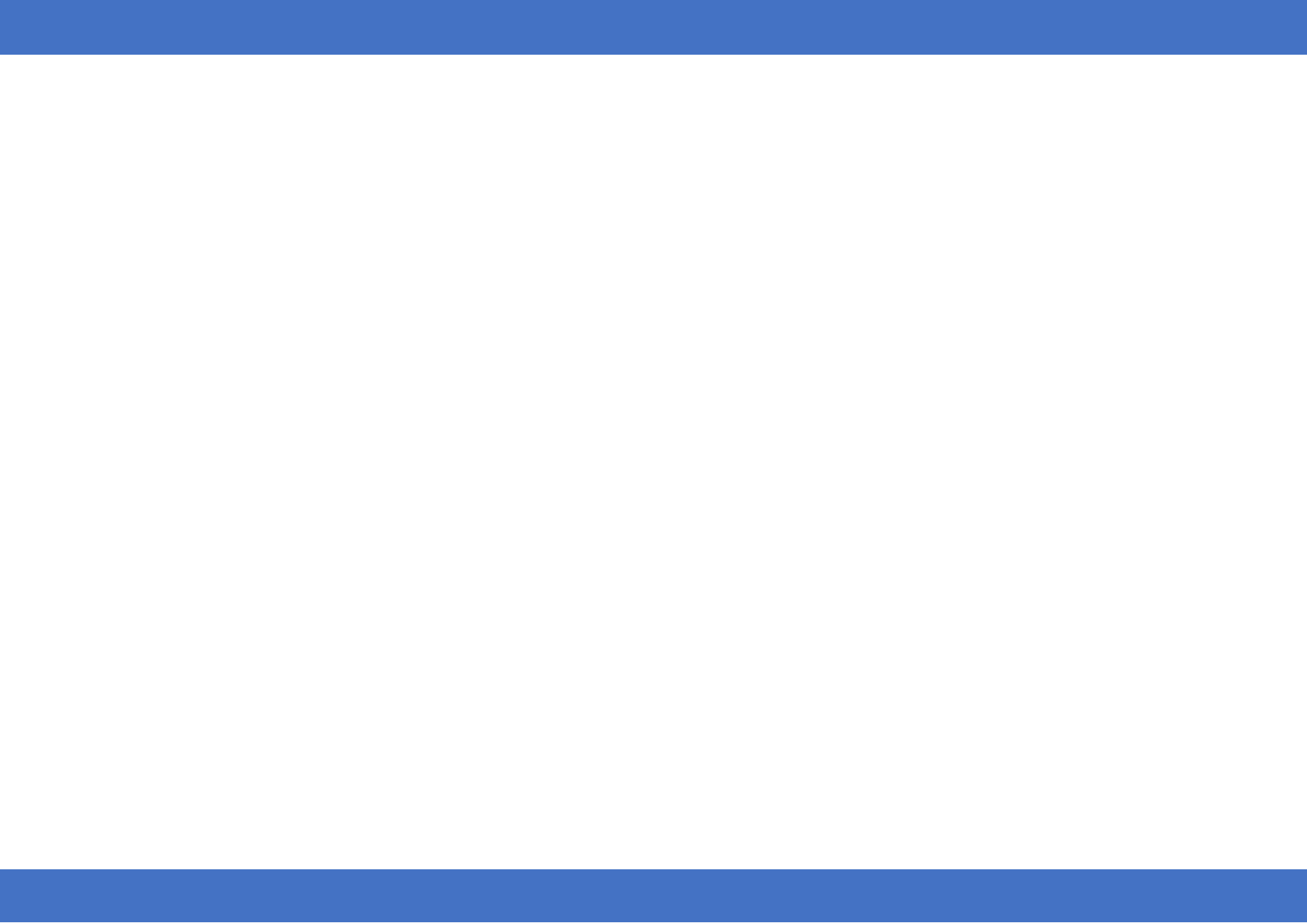


まちづくり市民ワークショップ
【報告書 概要版】

令和3年7月
龍ヶ崎市



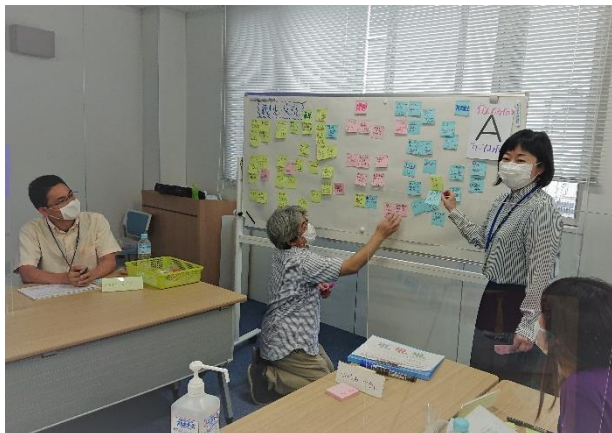


■グループAのテーマ：「龍ヶ崎に住んでみたい・行ってみたい」と思えるまちへ

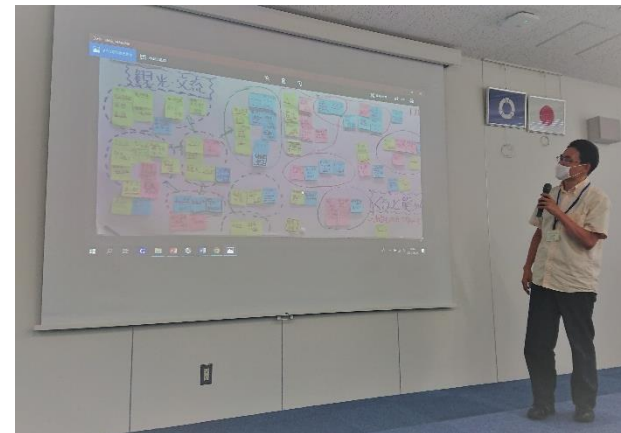
重点施策につながる意見の概要

- ・ 自然が豊か。
- ・ おいしい物が食べられる。
- ・ 季節のイベントがある（お花見、夏祭りなど）。
- ・ 見応えのある観光資源。
- ・ 龍ヶ崎市でしか見られないものを。
- ・ 神社、寺院等パワースポットがあるまち。
- ・ 特産品があり、お土産が選べるまち。
- ・ 駅前をにぎやか、きれいに。
- ・ 農業体験ができるまち。

●意見交換の様子



●発表の様子



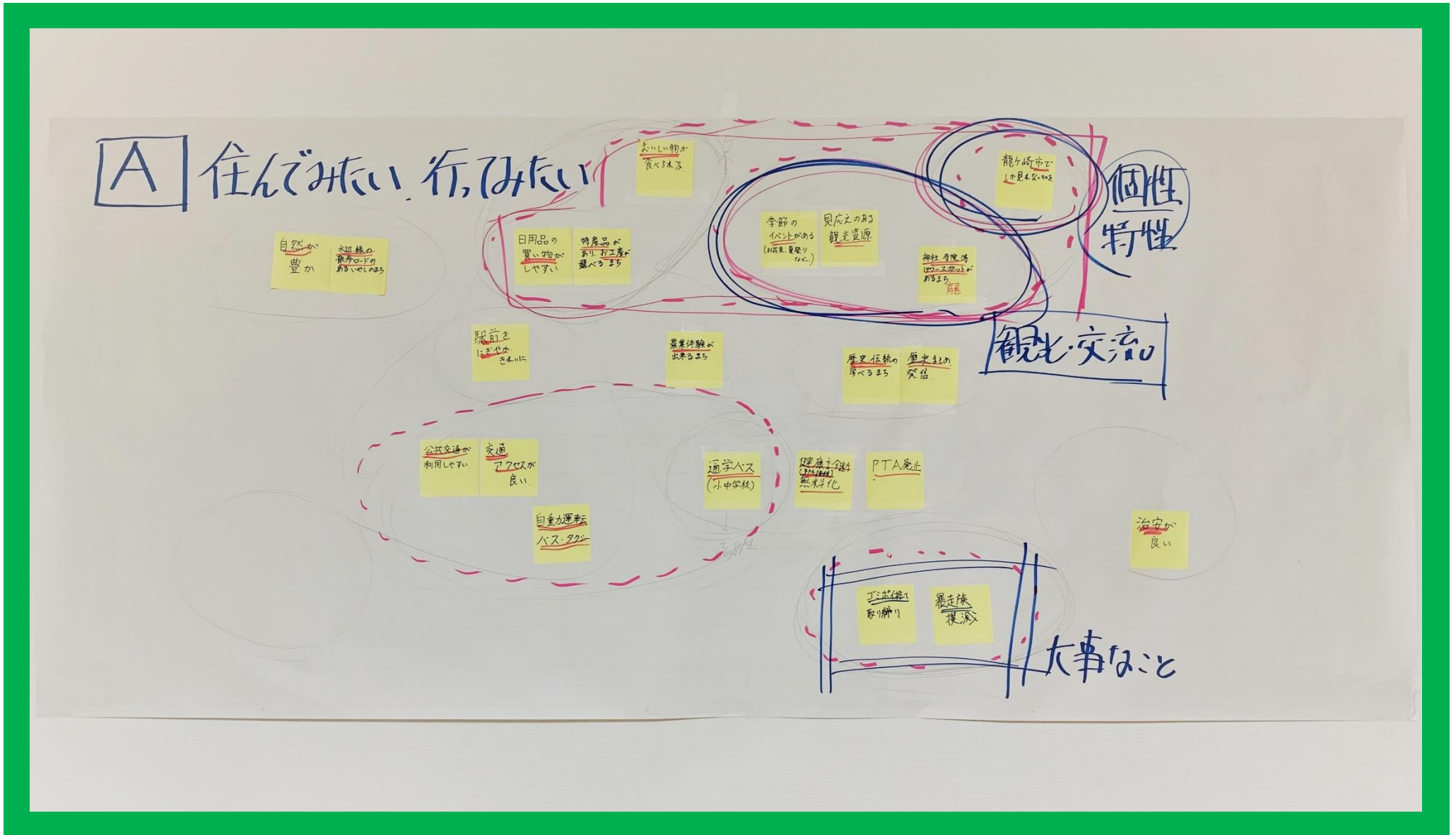
■グループAの重点施策：観光・交流

グループで決めた重点施策に対する意見の概要

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東鉄道竜ヶ崎線。 ・ 牛久沼。 ・ コロッケ。 ・ 農家。 ・ 森林公園。 ・ 山にも海にもそこそこ近い。 ・ 北につくば市、南に千葉ニュータウン。車があれば色々行ける。 ・ 東京から1時間。来やすい。 	<p>【観光資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 牛久沼のイメージアップ。 ・ 観光資源の保全（きれいに保つ）。 <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の興味関心。 ・ 意外に市民が知らないことが多い。 <p>【近隣との関係性（移動手段・案内等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段。 ・ 住むには良いが、観光は。 	<p>【観光資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うなぎ復活／水産資源研究。 ・ 子どもの体験ツアーの企画。 ・ 森林公園を利用したソロキャンプやグランピング。 ・ 観光案内人を養成。 ・ シニア世代に特化する。 <p>【個々を結ぶ取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県南市町村が協力して観光施策。 ・ 点を結ぶサイクリングロード。

施策名：ぐるっと龍ヶ崎=あるものをつないで=

■グループワークの成果 (その1)



■グループBのテーマ：「龍ヶ崎で子育てがしたい」と思えるまちへ

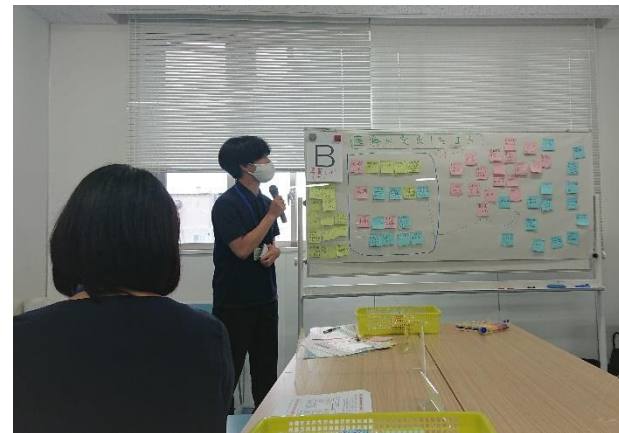
重点施策につながる意見の概要

- ・ 医療機関の拡充。
- ・ 障がいなどがある子の療育。
- ・ 医療のサポートが継続的なまち（子育て以前のサポートも必要）。
- ・ いつでも子どもを預かってもらえる体制が整うまち（病気の子も預かってもらえるような）。
- ・ 地域の方が見守ってくれる平和なまち。
- ・ 子育てサポートがある。
- ・ 子育て支援の拡充。

●意見交換の様子



●発表の様子



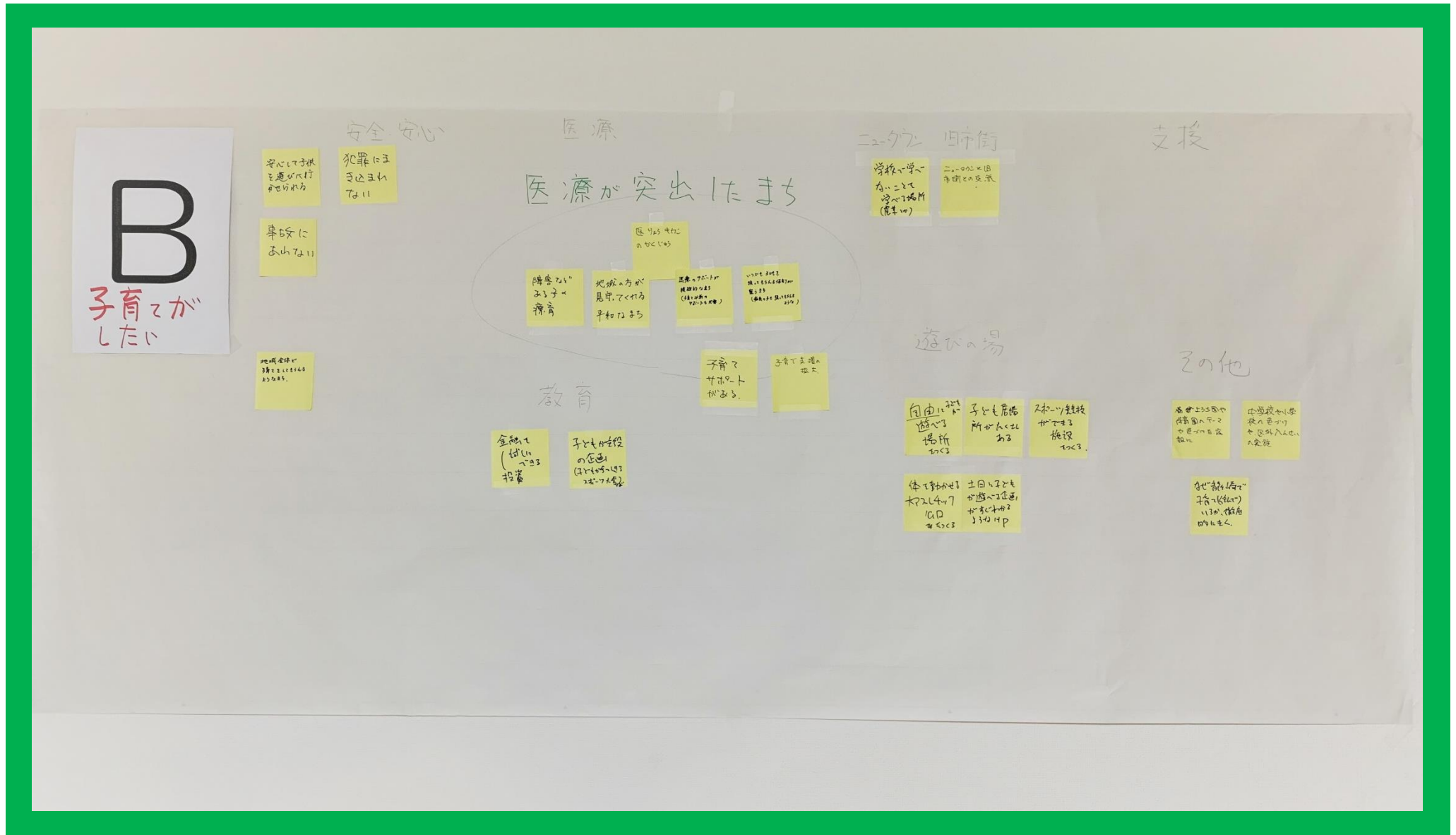
■グループBの重点施策：医療が突出したまち

グループで決めた重点施策に対する意見の概要

資源	課題	取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間に余裕のある人。 ・ さんさん館。 ・ 公民館／コミュニティセンター。 ・ 子育て経験のある看護師さん、市内の元看護師さん。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材（医療・看護師など）の活用。 ↑相談窓口として／集め方。 ・ 定期的に救命医療の方法（心臓マッサージ等）を地区単位など、小規模で学ぶ。 ・ ホームドクターの充実／小児科／訪問診療。 ・ 学校と病院の健診以外での交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A E Dの使い方、説明。 ・ 保護者向けの講座（予防医療、応急処置など）。 ・ 応急手当のやり方。 ・ 119番への連絡方法。 ・ 医療になるだけかからない健康づくり。 ・ 子育てサロン（高齢者が子どもを見る（見守る）場）。 ・ 子育て（小～高）の税優遇ができないか。

施策名：医療が突出したまち（日本一）

■グループワークの成果 (その1)



■グループCのテーマ：「人がつながり、住みやすい」と思えるまちへ

重点施策につながる意見の概要

【地域コミュニティ】

- ・近隣のコミュニケーションが多くある。
- ・市民一人ひとりが主役のまち。
- ・地域で頑張っている人の表彰。

【安心・安全】

- ・きれいなまち。
- ・安心して出歩ける。
- ・お散歩コース整備／知らない人とあいさつできる環境。

●意見交換の様子



●発表の様子



■グループCの重点施策：地域のコミュニティと安心・定住

グループで決めた重点施策に対する意見の概要

資源	課題	取組
【人】 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生、高校生、大学生の意見。 ・元気なシニア世代の皆さん。 ・ボランティアで活動している人。 【組織】 <ul style="list-style-type: none"> ・各コミュニティセンター／コミュニティ協議会。 ・自治会。 【場】 <ul style="list-style-type: none"> ・広い公園（集まれる）。 	【若い世代など関心のなさ】 <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の住民のつながりが希薄。 ・若年世代の関心がない。 【手間】 <ul style="list-style-type: none"> ・リストアップ（人材）。 ・防災組織。 【安全面】 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方の自転車、車の運転。 ・暴走族対策／ゴミのポイ捨て。 	【既存の制度（あるもの強化）】 <ul style="list-style-type: none"> ・親切月間。 ・声かけ運動（一声）。 【施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動をしたい人をつなぐ場。 ・空き家、古民家等を利用したシェアハウスやカフェ。 【交通・防犯】 <ul style="list-style-type: none"> ・シニアカーの専用レーンの設置。 ・交番の増設。

施策名：いつでも まってます

■グループワークの成果 (その1)

